

ほやほや

Japanese Red Cross Fukui Hospital

福井赤十字病院広報誌

vol.085

令和6年4月発行



日本赤十字社 福井赤十字病院
Japanese Red Cross Society

ご自由に
おとりください。

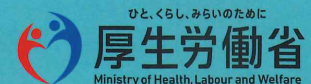
「かかりつけ医」 をもちませんか？

ご来院時・
診察時に気軽に
ご相談下さい



クリニック

上手な医療のかかり方



上手な医療のかかり方 ～症状が安定したら、日赤から地域のかかりつけ医へ～

能登半島地震における福井赤十字病院の救護活動報告

院外処方に全面移行します

福井赤十字病院 市民公開講座 女性のためのトータルヘルスケア
～専門医と学ぶ女性特有の健康～

教えてドクター【虚血性心疾患】

職種別・当院の取組み【公認心理師】

新規導入 医療機器の紹介

体・病院の素朴な疑問に答えます
～創立100周年にむけて～

福井赤十字病院 HISTORY Vol.1



結ぶきずな 地域とともに

結ぶきずな 地域とともに



院長
小松 和人

2024年3月16日、北陸新幹線が福井県に延伸しました。病院の窓から雪を頂く白山を背景として新幹線が走っているのを眺めることができます。新年度、当院は新たに多くの職員を迎え、新たな気持ちで張り切って業務に励んでいます。

福井赤十字病院は、たとえばロボット支援手術、脳血管内の血栓除去術、などに代表される、外科手術や先進的医療を中心にを行います。入院患者さん中心の医療を行います。緊急の患者さんにできる限り対応をいたします。診断に難渋する患者さんを受け持ちます。

これらを十分に実現するために、地域のかかりつけの先生との連携を推進し、比較的症状が安定した外来通院中の患者さんについてはかかりつけ医への逆紹介を提案いたします。何かとご不便をおかけするかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。



副院長
(医療社会事業部長)
高野 誠一郎

当院の地域医療連携シンボルマークは、中央の患者さん(赤色)を、当院(橙色)とかかりつけ医(黄色)がそれぞれ支えています。これは、当院と地域のかかりつけ医が、患者さんの病状にあった医療をそれぞれの場所で機能を分担し連携することにより、患者さんを切れ目なくサポートしていくことを表しています。また、シンボルマークに添えられたキャッチフレーズ「結ぶきずな 地域とともに」には、地域の繋がり(きずな)を大切に、医療機関が連携し患者さんを支えていくという思いが込められています。当院は地域医療を担う急性期病院として、患者さんや他の医療機関で治療が困難な患者さんをより多く受け入れるため、逆紹介を推進していく責務があります。治療方針や処方内容が決まり、手術後を含めて症状が安定した患者さんには、当院の担当医から紹介元のかかりつけ医、ご希望の地域の医療機関への逆紹介を提案させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

かかりつけ医は、どうやって探せばいいの？

かかりつけ医となる医療機関が思いつかない場合は、右の二次元コードから、当院の連携医療機関を地区ごと・疾患ごとなどの条件を設定して検索できます。

これ以外にも、「医療情報ネット(ナビ)」のホームページでは、福井県内に限らず、県外の医療機関も探すことができます。

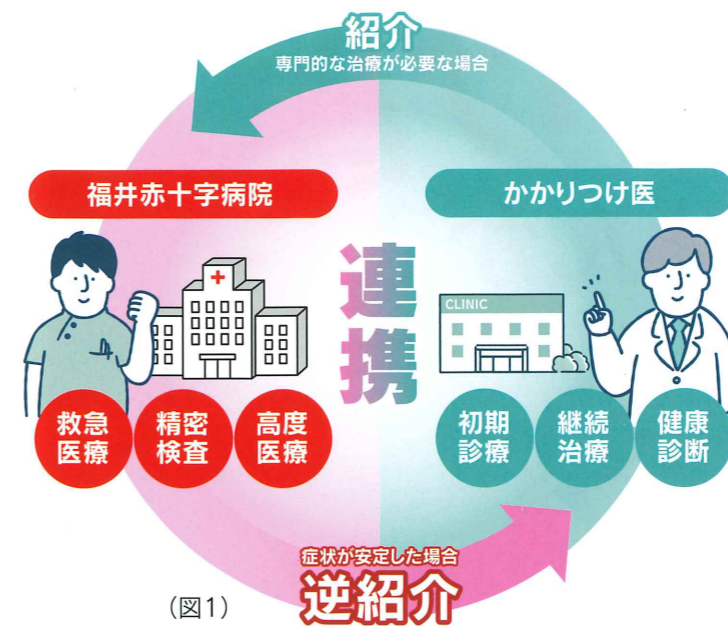
また、本館2階の地域医療連携課「かかりつけ医相談窓口」や、本館1階中央ロビーの「総合案内」でもご相談を受け付けております。お気軽に、当院の担当医または相談窓口までご相談ください。



上手な医療のかかり方 ～症状が安定したら、日赤から地域のかかりつけ医へ～

患者さんが安心して医療を受けるためには、「上手な医療のかかり方」が大切です。

体調に不安を感じたときは、まずは地域のかかりつけ医へご相談ください。かかりつけ医で専門的な治療が必要と判断された場合には、大きな病院(中核病院)へ紹介されます。中核病院での治療後に症状が安定したら地域のかかりつけ医へ戻るといった流れ(図1)を意識しましょう。日常的な病気やけがの治療は地域のかかりつけ医、手術や緊急性が高い病気など、専門的で高度な治療は中核病院というように、機能の異なる医療機関を使い分けことが、ご自身の健康維持や発症時のスムーズな治療につながる「上手な医療のかかり方」です。



(図1)

かかりつけ医

病気の初期診療や健康相談を担い、日頃の健康管理や生活指導などを行います。

また、症状が落ち着いている患者さんの、経過観察や生活習慣病などの継続的な治療を行います。必要に応じて専門的な治療が可能な病院への紹介を行います。

福井赤十字病院

救急患者さん、高い専門性を求められる高度な医療などが必要な患者さんへの、精密検査や特殊な検査、入院や手術、専門的な治療を行います。

参考:厚生労働省
「上手な医療のかかり方.jp」



あなたに合う「かかりつけ医」を持ちましょう

メリットは3つ!

- 1 身近で頼りになる存在**
自宅近くにかかりつけ医を持つことで、健康に関するさまざまな相談ができます。日頃のケガや病気、継続治療が必要な慢性疾患など、あなたの健康をサポートしてくれます。
- 2 病気の予防、早期発見・治療につながる**
日頃の健康状態を良く知るかかりつけ医であれば、少しの体調の変化や症状にも気づきやすくなります。
- 3 専門の医療機関への紹介がスムーズ**
高度な医療や専門的な治療が必要な場合は、症状に応じた適切な医療機関に紹介してもらえるため、スムーズに治療が受けられます。

当院は、令和5年9月1日付けで『紹介受診重点医療機関』に指定されました。

『紹介受診重点医療機関』とは、紹介患者さんを重点的に受け入れ、高度な外来診療を行う医療機関です。言い換えれば、基本的に「かかりつけ医」などからの紹介状を持って受診することが必要な医療機関です。

健康に関することを何でも相談できる「かかりつけ医」を持つと、専門的な検査や治療が必要な時には専門の医療機関を紹介してくれるなど、多くのメリットがあります。

福井赤十字病院では、患者さんに「かかりつけ医」をお持ちいただき、症状に合わせてスムーズに治療が受けられるよう、外来でチラシをお渡しするなど、積極的にご案内しております。

令和6年1月1日

能登半島地震における

福井赤十字病院の救護活動報告

発生！

発災30分後に災害対策本部を立ち上げ

1月1日午後4時10分頃、最大震度7の能登半島地震が発生しました。福井県や富山県も少なからず被害を受けました。その後の連日の報道等で、被災地の状況をご存じの方も多いと思います。

当院は、発災の30分後には幹部が参集し、臨時災害対策本部を立ち上げま

した。その日のうちに、日赤愛知県支部（福井が所属する日赤第3ブロックの統括支部）より救護班1班と日赤コーデイネートチーム1班の出動依頼があり、翌1月2日午前10時に救護班とコーデイネート班が、石川県に向けて出発しました。

現地へ！

陸路、空路を駆使したスムーズな連携

1月6日には、能登町にある柳田温泉病院に入院中の患者さんが自衛隊のヘリコプターを使って福井空港へ運ばれ、福井空港から福井市内の受入病院へ搬送する救護活動にあたりました。嶺北各地の消防隊と連携し、スムーズな搬送を行いました。

1月8日～1月13日までは、DMAT

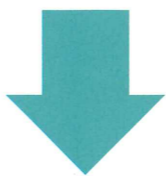
1隊が石川県立中央病院で、被災地から搬送されてくる患者さんの受け入れと、金沢市内の病院への搬送業務を行いました。陸路は到着までに多くの時間を要し、空路は天候に左右されるなど、患者さんの情報は入ってきていても、到着時間が不確定で忍耐が必要とされる任務でした。



情報収集を行う医師・看護師



時系列に情報を整理する職員



自衛隊ヘリからの患者搬送 (DMAT)



悪路の中、被災地を走行する救護車両

活動

被災者に寄り添ったケアとサポート

当院は、発災直後から3月末までの間に救護班計7班、日赤コーデイネートチーム計3班、DMAT計2班、こちらのケア1班を珠洲市、七尾市などの石川県内の被災地に派遣しました。そのほか、市立輪島病院の病院支援に従事した看護師もいます。

救護班は、医師、看護師、薬剤師のほか、診療放射線技師、臨床検査技師、作業療法士、言語聴覚士、事務の職員などで構成され、長期化する被災地の救護活動に取り組みました。また、救護班には、こころのケアスタッフが帯同し、被災された方はもとより救護班員のスト

レスケアにも努めました。

救護班の主な活動内容は、避難所の巡回です。指定された避難所と私設の避難所があり、避難者数も10人程度の所から100人規模まで様々ですが、地元区長などの避難所管理者の方からお話を伺うのと同時に、被災者の方々の健康状態を確認しました。また、避難所内に設置された救護所で診療にあたる場合もありました。

現地の医療機関も再開したとはいえ、まだ十分な状況ではなく継続した支援が求められています。



医療機関支援として、看護師を派遣



石川県庁でのコーディネート活動の様子



保健師と合同で被災者の元へ巡回している様子



こころのケア活動の様子

救護活動で感じたこと、思ったこと

救護班が宿泊していた施設では、水道が復旧していないためトイレはビニール袋内に凝固剤を入れる方法で対処しました。就寝は建物の中でしたが、寝袋を使用します。余震が続くなど不安がありました。翌日の活動に備えるため取り敢えず目を閉じます。

救護終了後、帰院すると活動の間病院で仕事を引き受けてくれていた上司や同僚が暖かく迎えてくれました。被災地で過ごされている被災者の方を思うと胸が痛みますが、無事に帰ってくるのができた安堵感で、ホッとしました。

災害はいつ起こるか分かりませんが、起こった時に少しでも心に余裕が持てるよう備えておきたいですね。

避難所での救護の様子



医師の様子。限られた条件の中で、最善の医療を提供



看護師の様子。同じ目線に立ち、丁寧に傾聴する



薬剤師の様子。一人ひとりに合った薬の説明をする



院外処方にも全面移行します

厚生労働省は医薬品の適正使用を図るため、医薬分業を推進しています。当院においても今年10月15日から、外来診察を受けられる患者さんについては、原則として「院外処方せん」の発行に全面的に移行します。院外処方の場合、患者さんのお薬は病院内ではなく、院外の保険薬局で調剤し、受け取るようになります。

院外処方に移行した場合、患者さんにとって下記のメリットがあります。

10月の全面移行前から保険薬局でお薬受け取りを希望される場合は、各診療科の主治医にご相談ください。
今後ともより良い医療と、きめ細かいサービスを提供するために取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

メリット①

地域のかかりつけ医など各医療機関から処方されたお薬との飲み合わせ等のチェックが可能になります。保険薬局の薬剤師がお薬を調剤することで、医療機関で処方されたお薬との飲み合わせや重複のチェックをすることができ、患者さんの安全を向上できます。

メリット②

お薬についてより詳細な説明が可能になります。院外処方になることで、お薬を調剤してもらう保険薬局で、薬剤師からしっかりとお薬の説明をより丁寧に受けることができます。

院内処方



院外処方



メリット③

どこの保険薬局でも受け取り可能になります。院外処方せんの期限内(原則4日以内)であれば、病院の近くの保険薬局や自宅近くの保険薬局でお薬を受け取ることができるようになります。

メリット④

後発医薬品に変更可能な医薬品の選択肢が広がります。病院内でお薬を調剤する場合は採用している薬の種類が限られているため後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更ができない場合があります。院外処方であれば後発医薬品に変更できる場合があり、医療費自己負担の節約になります(ただし、医師の診察の結果、後発医薬品への変更を許可した場合のみとなります)。

イベントのご案内

いきいきすこやか教室(赤十字健康生活支援講習)

受診の後やお迎えに来たついでにちょっと参加してみませんか? より健康に暮らすための情報や、身近な方のお世話に役立つ情報がいっぱいです。

いつまでも健康で元気に暮らしたいな

介護するときにはどんなことに気をつけたいの?



開催予定日時

4/10、4/24 11:00~	「人生会議」、 リラクゼーション
5/8、5/22 11:00~	災害時の お役立ち情報
6/12、6/26 11:00~	高齢者に多い病気

※参加申込は不要です。タリーズコーヒー横のメディカルサロンまでお越しください。

福井赤十字病院 市民公開講座 女性のためのトータルヘルスケア 〜専門医と学ぶ女性特有の健康〜

講演1 福井赤十字病院 神経内科副部長 早瀬 史子

「片頭痛のこと、相談してみませんか」

福井県は共働き率が全国1位で女性は頑張り屋さんです。その女性(20代〜50代)に多い神経疾患が片頭痛であり、日常生活に大きな支障をきたす病気である一方、治療を受けていない人が42.6%にもなります。治療方法は急性期治療と予防療法に大別され、最近ではGRP製剤などの新薬が登場し治療が大きく進歩しています。福井赤十字病院では、患者さんに頭痛ダイアリーの記入をお願いし、症状に合った治療法を模索し、提案していきます。予防療法ではGRP製剤の皮下注射を月1で実施し、多くの患者さんが大きな副作用なく頭痛の回数の減少を実感されています。片頭痛は女性特有の体の変化とも関連があり、

頭痛専門医による治療が推奨されます。お悩みの方はぜひご相談ください。

講演2 産婦人科鈴木クリニック副院長 鈴木 綾子氏

「婦人科かかりつけ医の活用法」 「こんな症状はご相談ください」

婦人科の受診は敷居が高く感じられるかもしれませんが、早期発見や専門的な治療へ繋げるためにも安心して受診していただきたいと思えます。不正出血やお腹の痛みなどの症状の中には重要な婦人科疾患が隠れている場合もあり、必要に応じて赤十字病院のような高次医療機関への紹介を行っています。更年期の症状や月経痛、月経前症候群など、女性特有の悩みに幅広く対応しており、治療方法として適度な運動、漢方・お薬の使用、ホルモン療法など多角的なアプローチを患者さんと一緒に考え、選択できることが大

切です。気になる症状は我慢せず、身体の悩みや治療の希望などを気軽に相談できる窓口として、かかりつけ医をご活用ください。

講演3 福井赤十字病院 院長補佐 田嶋 公久

「これだけは知っておきたい、 婦人科がんの予防と早期発見」 〜子宮頸がん、 子宮体がん・卵巣がん〜

子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんは主要な婦人科がんです。子宮頸がんは、性行為を通じてヒトパピローマウイルス(HPV)に感染することで起こり、予防のためのワクチン接種が推奨されています。近年、20代前半の女性に増加傾向が見られるため、若い年代からの予防と定期検診が重要です。子宮体がんは、エストロゲンや生活習慣と関連しており、肥満や糖尿病、高血

圧のある方は注意が必要です。早期発見のためには不正出血などの際の受診が大切です。卵巣がんは早期発見が難しく、家族歴や子宮内膜症がリスク要因となることがあります。これらのがんは、定期的な検診と生活習慣の見直しにより、予防や早期発見が可能であり、健康維持のためにはそれらに留意することが大切です。

福井赤十字病院HPでアーカイブ動画も配信中





循環器内科部長
坪川 明義

《 虚血性心疾患 》

日本人の3大疾病は、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患ですが、今回は、その心疾患の中でも最も多い、虚血性心疾患について、専門医に聞いてみました。

教えてドクター

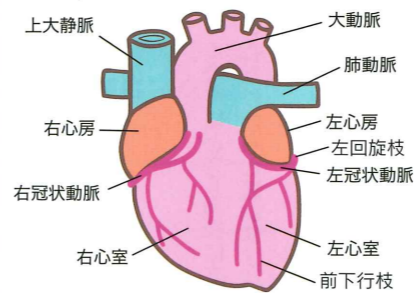
Q & A

虚血性心疾患は狭心症や心筋梗塞のこと

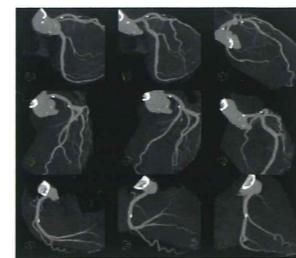
Q. 虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)とはどんな病気ですか？

A. 虚血性心疾患とは、心臓の最も代表的な病気です。突然死の原因にもなります。

心臓はみなさんの胸のほぼ中央にあり、大きさは握り拳大の筋肉でできた臓器で、全身へ血液を送り出す大切なポンプの役割をしています。この心臓の筋肉に血液を送るために心臓の外表面には冠動脈という血管(心臓の出口すぐの大動脈基部から分岐)があります。一般的に冠動脈は左右それぞれ1本あり、左は大きく2本に分かれています。左の前の方へ流れる血管を「前下行枝」、後ろの方へ行く血管を「左回旋枝」、右側の血管を「右冠動脈」と呼びます(図1)。この冠動脈が、動脈硬化(血管内にコレステロールや中性脂肪などが沈着する)や異常な痙攣で、狭くなったり、詰まったりすると心臓の筋肉へ十分な酸素や栄養がスムーズに行き渡らなくなり、狭心症、心筋梗塞を発症します。重症の狭心症、心筋梗塞では、致死性の不整脈、心不全を合併して、突然死する可能性もあります。



(図1)



(図2)

Q. どんな症状がありますか？

A. 虚血性心疾患の典型的な症状は、冷汗を伴う前胸部圧迫感(締め付けられるような痛み)、呼吸困難感があります。頸部・下顎、肩から上肢、みぞおちへ痛みが広がることもあります。症状は、数分から数時間続くことがあり、症状が憎悪して数時間続く場合は、心筋梗塞の可能性が高くなります。特に糖尿病、脂質異常症、喫煙などの危険因子を持つておられる方は注意が必要です。ただし、胸痛でもチクツとする、ズキツとするような数秒間の胸痛、息を吸うと痛みが出現する胸痛、姿勢で痛みの程度が変化する胸痛などは、虚血性心疾患の症状の可能性は低いと思われ、心臓の疾患以外の可能性も疑われます。

Q. どのような検査がありますか？

A. 外来診療で行う検査には、12誘導心電図検査、運動負荷心電図検査、胸部X線検査、心臓エコー検査、血液生化学検査などがあります。その上で、虚血性心疾患が強く疑われた場合には、更に詳しく診断するために、負荷心筋シンチグラム検査や冠動脈CT検査を行います。特に、冠動脈CT検査は有用であり、外来の検査で、冠動脈の動脈硬化の程度をチェックすることが可能です(図2)。全ての患者さんの判定が可能だというわけではありませんが、非常に精度が上がってきています。入院で行う検査としては、心臓カテーテル検査があります。手首や足の付け根の血管からカテーテルを挿入して、冠動脈を造影する検査です。

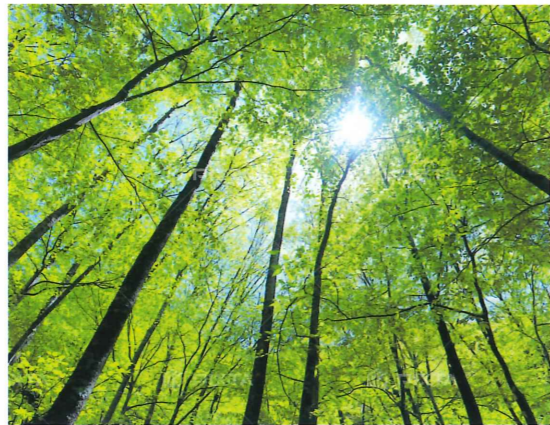
職種別 当院の取組み

公認心理師

どんな仕事？

公認心理師という資格は2017年に誕生しました。複雑多様化している現代の心の健康問題に対処することを期待された比較的新しい国家資格です。当院には、2名の公認心理師がおり、当院のスタッフを支える、いわば裏方としての役割も求められています。

公認心理師の主な仕事内容と役割は、心の不調を抱える人やその家族や関係者を支援すること、心の健康を保つための情報発信や啓蒙活動により、心の不調を起ささないように支援することです。特に、心の健康を損なうことがないように、予防することがとても大事だと考えています。



メッセージ

心の不調は、いつ誰がどのようなきっかけで起こすのかわかりません。また、心の不調がきっかけで身体や生活の問題に繋がることもあります。当院のスタッフが心の健康を損なうことなく、患者さんやご家族に安心いただけるケアやサービスを提供できるように、私たちの専門性を活かして支援していきたいと思えます。

新規導入 医療機器の紹介

外視鏡 ORBEYE

今年1月にオリンパス社の外視鏡 ORBEYE(オーブアイ)を導入しました。

ORBEYEは、4K3D技術が搭載された手術用顕微鏡で、高精細デジタル画像により、術野の微細な構造を立体的かつ精細に観察することができます。これまで使用していた顕微鏡とは異なり、ORBEYEは外視鏡の一種で、顕微鏡に比較して小型でカメラ角度の自由度が高く、顕微鏡では実現できなかった角度から術野を観察することが可能になります。大画面に3D映像として術野が映し出されるため、術者、助手、麻酔科医、看護師など手術室にいる全員が同じ術野を共有することが可能でチーム連携が取りやすくなる利点もあります。

将来的にはORBEYEを含めた外視鏡で手術を行うことが一般的



脳神経外科副部長
取越 貞治

なると考えられます。実際に全国的にも徐々に導入が進んでおり、当院でも他に先駆け導入に踏み切りました。

現在は主に脳神経外科、耳鼻咽喉科、形成外科で使用しており、より安全でより確実な手術を行い、患者さんにより良い医療を提供できると考えています。





体・病院の素朴な疑問に答ええます

患者さんからの「ご意見はどうやって届いているの？」

ズバリ、ご意見箱です。
患者さんからのご意見・ご要望などをお聞きするために、正面玄関や2階の休憩スペースなどの各所に「ご意見箱」を設置しています（左記）。投函されたご意見は、定期的に回収・確認し、ご意見の内容に関連する院内の部署が検討を行い、改善に取り組んでいます。また、すべての

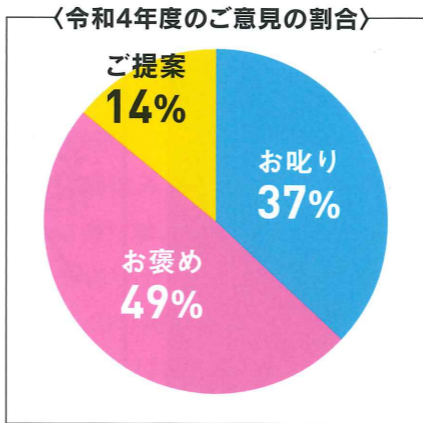


ココに設置
されています！

- 正面玄関
- 健康医療情報室(スマイル)
- 2階エスカレーター付近
休憩スペース
- 透析センター
- 病棟デイルーム

ご意見は院長、副院長などの病院幹部も拝見しております。

職員へのお褒め・お叱りの言葉や、施設やサービスに関する提案など、年間120件ほどのご意見をいただいております。病院、職員に対して何かご意見などがありましたら、ぜひお聞かせください。



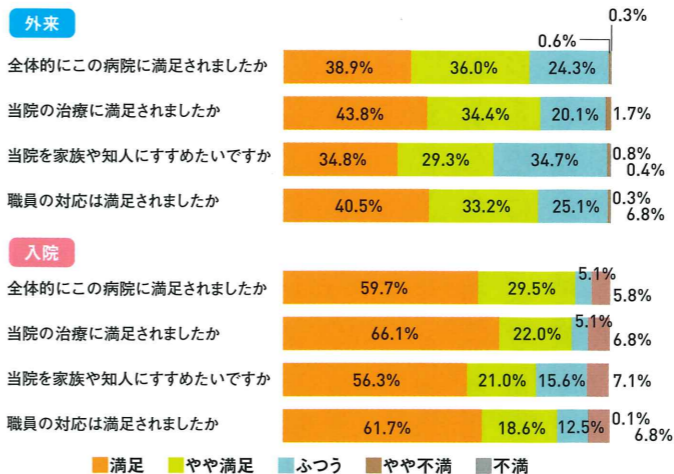
過去のご意見は
コチラ！



患者満足度調査を行いました

1年に1度、患者満足度調査を実施しております。調査にご協力いただき誠にありがとうございました。令和5年度の結果はグラフのとおりです。

いただいた貴重なご意見・評価を受け、改善すべき点については対策の検討などを行い、今後も患者さんに安心して当院を受診していただけるように職員一同精進してまいります。



女性活躍に関する座談会開催

令和6年1月30日、「福井赤十字病院における女性活躍に関する座談会」を開催しました。

演者に鷲頭美央福井県副知事、ファシリテーターに笠井恭子福井県立大学看護福祉学部教授をお招きし、家庭と仕事を両立させる働き方、職場のあり方などについて意見を交わしました。当院は、7割が女性職員であり、女性が働きやすい職場づくりを目指しています。



令和6年度入社式

令和6年4月1日、総勢92名の新入職員が入社し、様々な思いのもと、福井赤十字病院の一員として第一歩を踏み出しました。



～ 創立100周年にむけて～ 福井赤十字病院 HISTORY — Vol.1 (1925～1950) —

福井赤十字病院は県内の公的病院としては最も歴史が古く、2025年4月に100周年を迎えます。99年目を迎えた2024年度初の本号より、古い文献や当時の新聞記事などを辿り、過去の歴史を振り返ります。

明治初頭より福井市には藩政時代より引き継がれた福井医学堂があり、これに附属した病院が一般診療にあたり、1886年(明治19年)に医学校が廃止されましたが、附属病院は利用者が多く、県立福井病院として県が管理することとなりました。しかし、戦争の傷病兵や貧困患者の救護、救護員養成など赤十字としての事業を推進するために、県内各界から日赤支部病院設立の要望が強くなり、1918年(大正7年)、附属病院の日本赤十字社への移管が決定しました。

新病院建設に向けて動き出しましたが、建設予定地の決定には紆余曲折を経たことが当時の新聞記事から知ることが出来ます(1918年6月6日付 大阪朝日新聞「赤十字病院の敷地」、他多数)。1922年(大正11年)に敷地(旧足羽郡木田村山奥地籍、8,773坪)を買収、1923年(大正12年)に建設を起工することとなりました。総工費は68万2,136円。そのうち34万8,070円は県民篤志家の寄付によるものでした。

開院前年の大正13年(1924年)の後半には新病院は概ね完成しており、建物内外の様子が詳細に当時の福井新聞で紹介され(1924年10月23日

25日付 福井新聞「年内には竣る赤十字病院の建築 八分通り出来た輪輿の美と完備した諸般の新施設」、新病院への期待の高まりが伺い知れます。同年12月27日には初代院長大野淳五博士ほか数名の医師、当時の豊田知事も同行して新病院の視察が行われた(1924年12月28日 大阪朝日新聞「組織の完備について万全を期したい 赤十字福井支部病院を視察して大野



大正14年 開院式

1925年(大正14年)4月1日、晴天の下で、2,000名余りの来賓が招かれ、開院式典が盛大に執り行われました(1925年4月2日付 福井新聞「赤十字病院開院式 来賓二千余名新築の香り床しき前庭に採光輝く歓喜の成典」)。



昭和23年(福井)震災直後

院式の翌日より診療を開始しました。当日の患者数は予想外に多く、11時に受付を制限しましたが、22時過ぎまで診療が続いたことや病床が隣りに一杯となったことが記録に残っています。また、当時は呼吸器疾患の患者が多数を占めていたことが記されています(1925年5月14日付 大阪朝日新聞「患者の六割は恐ろしい呼吸器病 福井県の風土の関係か赤病

院は開院勿々大入り)。開院10年後の1935年(昭和10年)には10周年の記念式典が来賓を招いて開かれ(1935年5月1日付 福井新聞「開院十周年 赤十字病院記念式 官民名士を招きて」)ましたが、この10年の間に小児科の開設、病床の増床、伝染病棟・北陸初の鉄筋コンクリート造りのサナトリウム棟の竣工と、着実に診療機能を充実させてきました。

1943年(昭和18年)には現在の名称である「福井赤十字病院」に改称しましたが、その2年後の1945年(昭和20年)7月19日にはB29の爆撃を受けるなど、戦災で8病棟が消失、さらにその3年後の1948年(昭和23年)6月28日に発生した福井大震災は気象庁震度階級にあらたに震度7(激震)が設定される程の大災害となり、福井赤十字病院も病棟の一部を除いて南向きに倒壊し、2階が1階となり大きく傾斜するなど、壊滅的な被害を受けました。道路や堤防には陥没や地割れが生じ、中角橋・木田橋など九頭竜川・足羽川の橋が落ちて交通網は寸断されました。2024年1月に発生した能登半島地震のように水を使うことも困難となる中、当時唯一の基幹病院として、資金の全てを投じて応急的な工事をを行い、各診療科と病床100床を仮設して診療を再開しました。

開院から四半世紀の節目を迎えようとしていたこの頃、福井赤十字病院は戦災と震災という災禍に見舞われていました。

【参考】福井県史 通史編、大阪朝日新聞、福井新聞、福井赤十字病院創立90周年記念誌、この道(昭和60年 福井赤十字病院看護部編集)



調理師
おすすめ

簡単にアレンジもできる 旬の食材たっぷりキッシュ



今回は、春の食材がたっぷりのキッシュを紹介します。キッシュはフランス、アルザス＝ロレーヌ地方発祥の郷土料理の一つで、タルトやパイ生地に、具材と共に溶き卵・生クリームを流し込んで焼き上げた料理のことです。今回は、生クリームの代わりに牛乳を使いましたが、豆乳でもヘルシーに作れます。

また、市販のパイシートを使って作るのも簡単にできます。しらすやチーズに塩分があるので、塩こしょうで調味しなくても十分美味しく食べられますよ。

春野菜はキャベツやじゃがいも、アスパラなど他にもたくさんあるので、ぜひ違った食材でも試してみてください。

担当:調理師 三原尚之

材料(18cmタルト型)

菜の花	1束
新玉ねぎ	1/2玉
しらす	80g
オリーブオイル	大さじ1
冷凍パイシート	2枚
牛乳	100cc
卵	2個
パルメザンチーズ	大さじ1

栄養量 (1/8切れ分)

エネルギー	143kcal	脂質	8.3g
たんぱく質	7.2g	炭水化物	9.9g
		塩分	0.6g

作り方

- ①大きめの鍋に湯を沸かし、沸騰したら塩少々を入れ菜の花を茹でる。冷水にとった後、しっかり水気を絞り2~3等分に切る。
- ②新玉ねぎは5mm程度の薄切りにする。フライパンにオリーブオイルを入れ、玉ねぎがしんなりするまで炒め、粗熱をとる。
- ③型にオリーブオイルを薄く塗しておく。常温に戻したパイシートをのびし、型にセットする。フォーク等で所々穴をあける。オーブンは180度に予熱する。
- ④ボウルに卵を割り、牛乳を加えながらよく混ぜる。チーズの半量、菜の花、玉ねぎ、しらすを加える。
- ⑤③に④を流し込み、さらに残りのチーズをふりかける。
- ⑥オーブンで30分焼く。
- ⑦冷ましてカットすれば出来上がり。

調理員募集 ~入院患者さんの食事を作るお仕事です~

業務内容

- 材料切り、下味付け等の下処理
- フルーツのカット、基本的な調理作業、副食の盛り付け、ベルトコンベアでの配膳業務
- ボウル、ホテルパンなどの調理器具洗浄、厨房清掃等
(病棟配膳、下膳、食器洗浄はありません)

勤務

- 8時30分~18時00分間のシフト制(実働7時間45分)※勤務時間については応相談
- 週休2日制(土日、祭日休あり)



詳細はHPをご覧ください
福井赤十字病院 人事課 0776-36-3630(代)

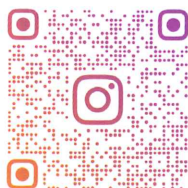


お知らせ

福井赤十字病院公式Instagramのご紹介

当院をより身近に感じていただくためにInstagramを開設しています。

当院からのお知らせや院内外で行われるイベントの様子、院内の雰囲気やスタッフの取り組みなど、様々な情報を発信していきます。みなさま「フォロー」や「いいね」よろしくをお願いします。



+ 福井赤十字病院

理念

人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。

基本方針

- 患者さんの権利と意思を尊重し、協働して医療を行います。
- 安全と質を向上させ、優しい医療を行います。
- 人間性豊かで専門性を兼ね備えた医療人を育成します。
- 急性期医療・疾病予防・災害時医療に積極的に取り組みます。
- 保健・医療・福祉と連携し、地域社会に貢献します。

〒918-8501
福井県福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630(代)
FAX.0776-36-4133



広報に関する
ご意見、ご感想を
お待ちしております。



ほやほや

“ほやほや”と納得できる情報、できたて“ほやほや”の情報をみなさまに提供していく季刊発行の情報誌です。院内の広報委員で毎回の季節に合った特集を組み、お役に立てる情報を掲載すべく病院各部門のスタッフそれぞれから原稿を集め誌面を制作しています。